

業 種	バス
取組分野	事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用
テ ー マ	事故削減に向けた各種取組
取組の狙い	① 事故原因ごとの事故防止策の策定および実施 ② 乗務員へのさまざまな指導教育の取組
具体的内容	<p>過去の重大事故等の事故原因を分析し、主な事故種類ごとに、以下の具体的な事故防止策を実施している。</p> <p>【事故種類別の事故防止策】</p> <p>① <u>バス車内事故</u> バス車内事故の多くは、高齢者の転倒事故であり、重大事故（重傷）になることが多い。その対策として、着席後の発進を指導してきたものの、効果が少なかったため、より確実な着席後のドア閉め、その後の発進を点呼指示や社内掲示等により徹底を図っている。また、グループ会社が作成した車内事故特集（あなたは、3秒ルールを守れていますか）のDVDを12月の常会で全乗務員が視聴する取組みも行っている。</p> <p>② <u>交差点の右左折時の横断歩道上の事故</u> 交差点での右左折時の一旦停止の取組みを行っており、車体後部に「交差点右左折時に一旦停止します。」と書いた黄色いステッカーを貼付することで、運転士の意識付けや後続車からの追突事故防止を図っている。</p>  <p>③ <u>発車時の静止物接触事故</u> 有責事故の大半が静止物に接触する事故で、注意すれば防止できることから、3秒ルールを実施している。具体的には、直ぐに発車するのではなく、発車前に一旦深呼吸を行い、周囲を確認するようにしている。</p> <p>加えて、上記の事故防止策の効果を高めることなどを目的に、乗務員への以下の指導教育を実施している。</p> <p>【乗務員への指導教育】</p> <p>① <u>自ら考える指導教育</u></p>

	<p>乗務員の集団教育の際、事故情報やヒヤリ・ハット情報について、乗務員が自ら原因を見つけ、自ら対策を考える教育を実施している。</p> <p>② <u>デジタルタコグラフを利用した指導教育</u> デジタルタコグラフによる運転の採点が「D判定（一定基準以下）」の乗務員に対して、重点的に指導を行っている。</p> <p>③ <u>安全意識を高める講習</u> 各講習会に積極的に専門の外部講師を招き、新たな視点からの事故防止に取り組んでいる。</p>
取組の効果	<p>① 重大事故について、平成24年に車内事故が発生したが、それ以降は発生していない。</p> <p>② 有責事故（大半が自損事故）についても、年々減少している。</p>
事業者名	<p>西鉄バス佐賀株式会社 (連絡先：0952-31-8385)</p>